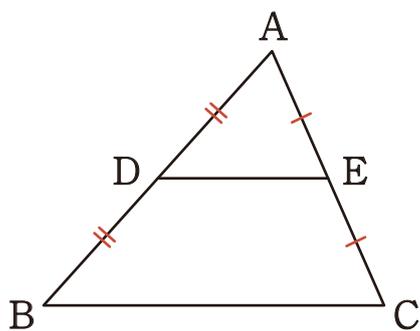


中点連結定理

三角形の2辺の中点を結ぶ線分は、残りの1辺と平行となり、長さがその半分になる性質がある。

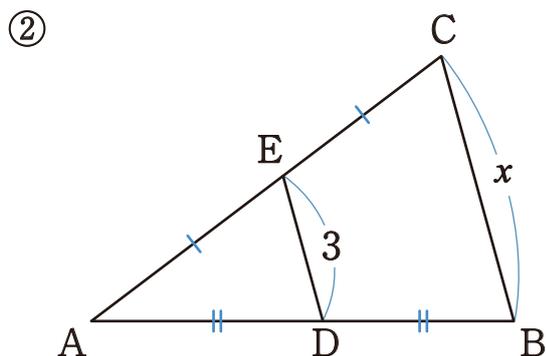
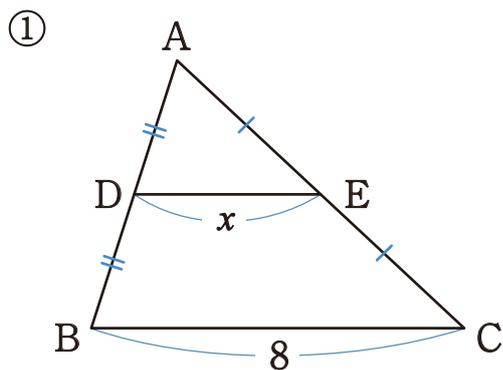
中点連結定理

三角形の2辺の中点を結ぶ線分は、残りの1辺と平行で長さがその半分となる。



辺ABの中点が点D、
辺ACの中点が点Eのとき
 $DE \parallel BC$, $DE = \frac{1}{2} BC$ となる。

- 1 次の図で点D, 点Eがそれぞれ辺AB, 辺ACの中点のとき、 x の値を求めなさい。

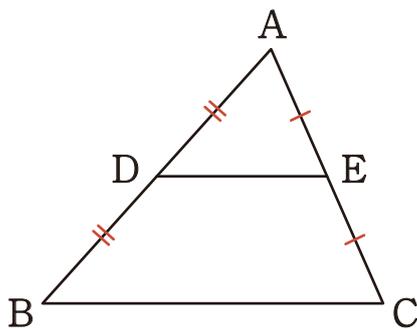


中点連結定理

三角形の2辺の中点を結ぶ線分は、残りの1辺と平行となり、長さがその半分になる性質がある。

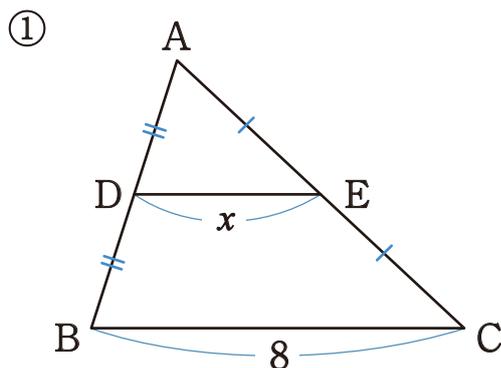
中点連結定理

三角形の2辺の中点を結ぶ線分は、残りの1辺と平行で長さがその半分となる。



辺ABの中点が点D、
辺ACの中点が点Eのとき
 $DE \parallel BC$, $DE = \frac{1}{2} BC$ となる。

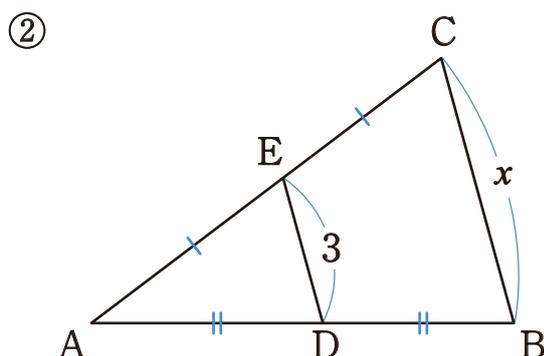
1 次の図で点D, 点Eがそれぞれ辺AB, 辺ACの中点のとき、 x の値を求めなさい。



$$x = 4$$

$$x = \frac{1}{2} \times 8$$

$$x = 4$$



$$x = 6$$

$$x = 3 \times 2$$

$$x = 6$$